

5月30日に南小学校校長 織田先生との話合いにより、総合クラブの催し物などの記事についても、南小学校のホームページにアップして頂けるようになりました。

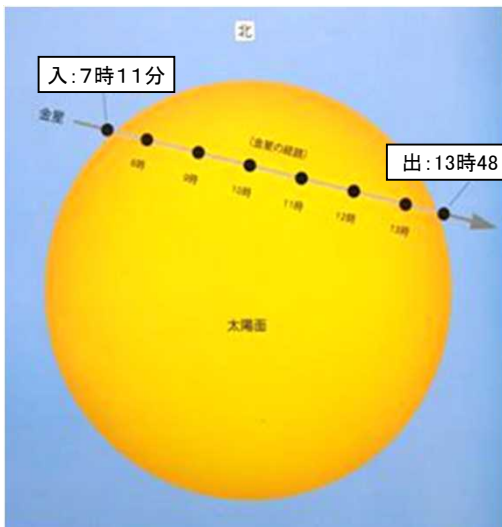
総合クラブ員以外の方も参考にして下さい。また、参加・加入は大歓迎いたします。

金星の太陽面通過 6月6日(水)

天気が良ければ南小運動場に望遠鏡(投影像)を設置します。

太陽を絶対に直接見ないで下さい。

総合クラブの方は先日配布しました金環日食用グラスを使用してください。



地球のすぐ内側をまわる金星は、明け方の東の空や夕方の西の空で明るく輝き「明けの明星・宵の明星」と呼ばれています。その金星が黒い点となって太陽の前面を横切っていくのが「金星の太陽面通過」現象です。金星は見かけの大きさが太陽の32分の1の大きさなので、日食グラスでもハッキリ見えます。

5月21日金環日食 (望遠鏡投影写真)



ふらっとみなみ 北駐車場にて

今回を見逃すと次回は105年後になります。

国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」を見よう

肉眼で十分見えますので夜空を見上げてください

地平座標表示図



	6月6日(水)	時刻	方位	仰角
①	見え始め	20:20:00	南南西	11
②	最大仰角	20:23:00	南東	42
③	見え終り	20:25:30	東北東	13

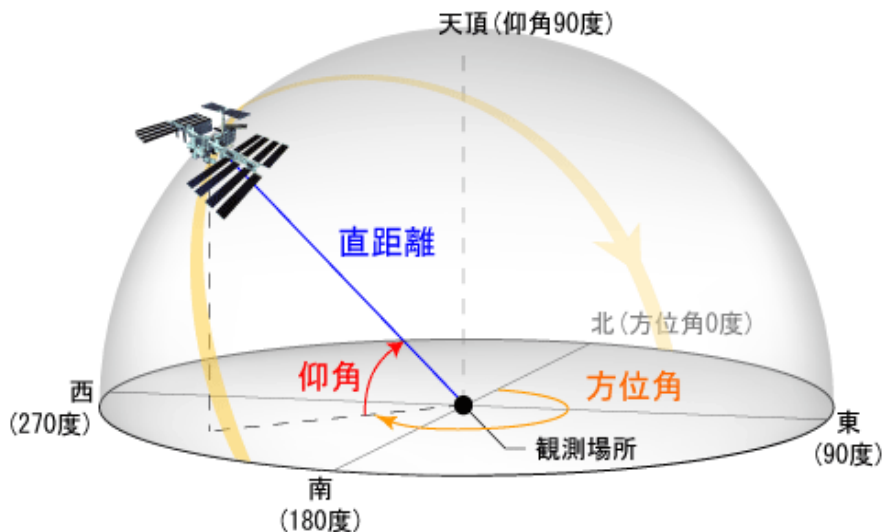
	6月8日(金)	時刻	方位	仰角
①	見え始め	20:08:00	南西	11
②	最大仰角	20:11:00	北西	69
③	見え終り	20:14:00	北東	11

「きぼう」を見よう - 補足説明

0~1等星程度の明るさで点滅せず、滑る様に飛んでいきます。

方位角、仰角、直距離

本プログラムで使用する方位角、仰角、直距離の定義は以下の通りです。



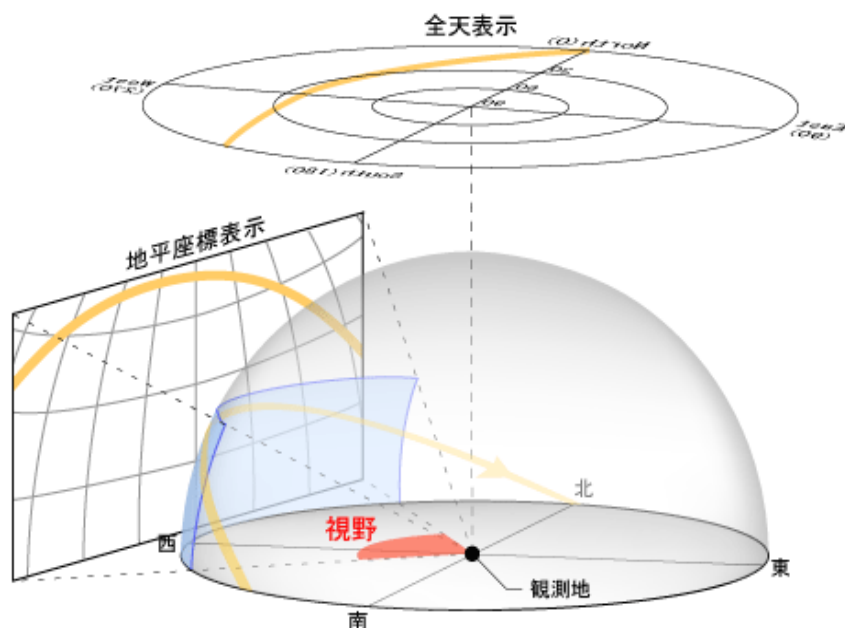
方位角	地平線の北方向から地平線に沿って時計回りに計った角度
仰角	地平線から天頂に向かって計った角度
直距離	観測地から飛翔体までの距離

見え始め、最大仰角、見え終り

本プログラムでは、見え始め・最大仰角・見え終わりについて、以下のように定義しています。

見え始め	飛翔体 (ISS、スペースシャトルなど) が太陽に照らされていて、仰角が10度以上になったとき
最大仰角	飛翔体が太陽に照らされていて、一番天頂に近い位置の仰角
見え終り	仰角が10度を下回る直前か、飛翔体が太陽に照らされなくなったとき

飛翔体の天空通過経路図



地平座標表示図	観測地からある方角を見たときの飛翔体の通過経路を平面に投影した図
全天表示図	観測地から見た天頂を中心に、全天を平面に投影した図